

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

2007年度 連結決算

2008年 4月25日

株式会社 **東芝**

代表執行役専務 村岡 富美雄

注意事項

- この資料には、東芝の将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- また、多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）を含んでいます。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。
- 注記が無い限り、表記の数値は全て12ヵ月累計です。

概要

摘 要	07年度	06年度	差
			対06年度
売 上 高	76,681	71,164	5,517
営 業 損 益 %	2,381 3.1%	2,584 3.6%	-203 -0.5%
税 引 前 損 益 %	2,556 3.3%	2,985 4.2%	-429 -0.9%
当 期 純 損 益 %	1,274 1.7%	1,374 1.9%	-100 -0.2%
基 本 的 1 株 当 たり 当 期 純 損 益	39円46銭	42円76銭	-3円30銭

単位：億円

今回の決算のポイント

- 対前年で8%の増収であるが、損益は3年振りの減益
 - 売上高 76,681億円 (+5,517億円、108%)
 - 営業損益 2,381億円 (-203億円)
 - 税引前損益 2,556億円 (-429億円)
 - 当期純損益 1,274億円 (-100億円)

* NAND型フラッシュメモリの価格下落により、半導体の営業損益が悪化
半導体事業 890億円 (-393億円)

* PC事業、社会インフラ部門の営業損益は好調に推移
PC事業 412億円 (+343億円)
社会インフラ部門 1,313億円 (+345億円)

- HD DVD事業終息に伴う損益悪化

(対06年度)

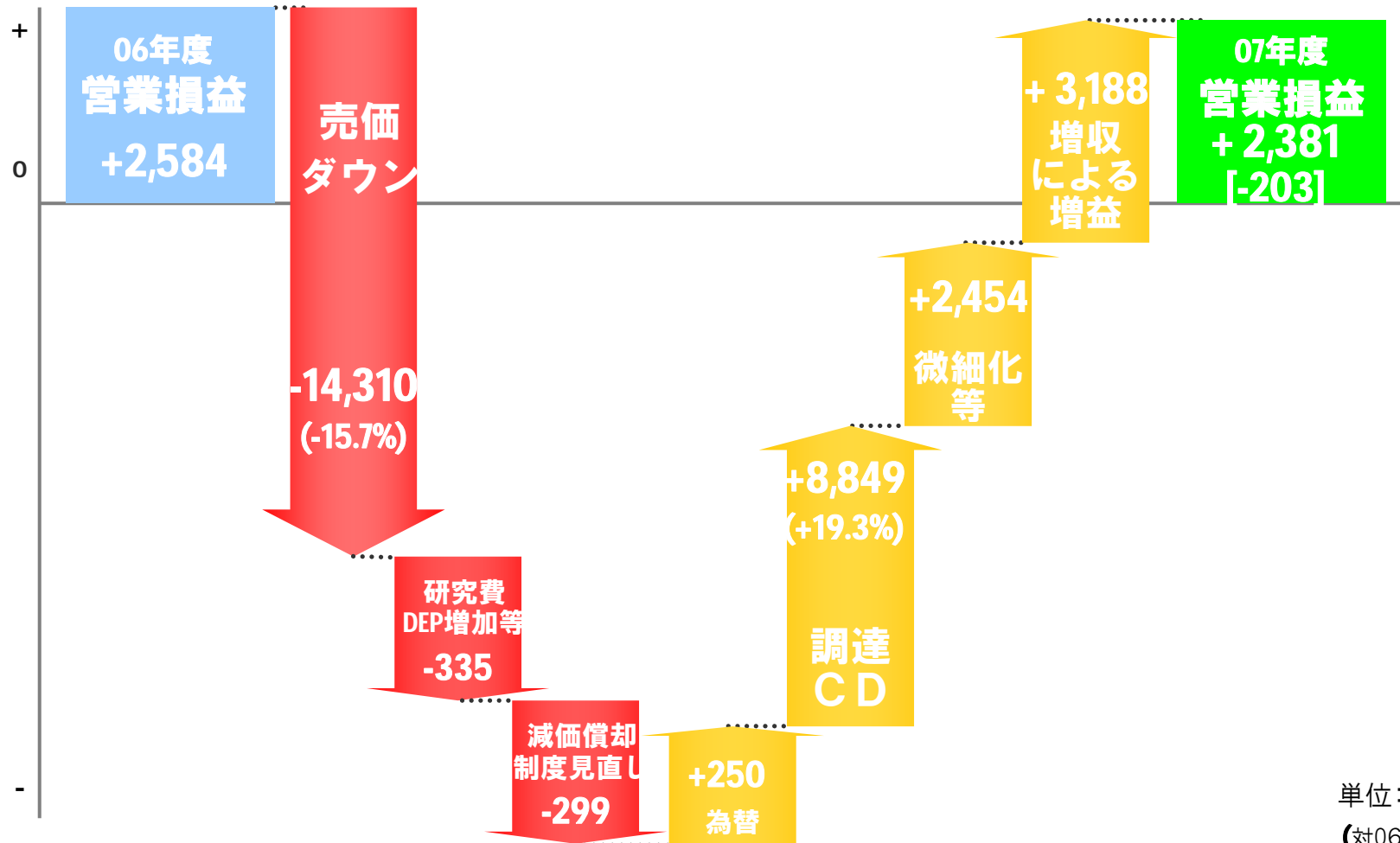
セグメント情報

単位: 億円

売上高	07年度	06年度	差
			対06年度
デジタルプロダクツ	29,512	28,055	1,457
電子デバイス	17,385	16,573	812
社会インフラ	24,190	20,677	3,513
家庭電器	7,743	7,489	254
その他	3,846	3,916	-70
連結計	76,681	71,164	5,517

営業損益	07年度	06年度	差
			対06年度
デジタルプロダクツ	150	158	-8
%	0.5%	0.6%	-0.1%
電子デバイス	741	1,197	-456
%	4.3%	7.2%	-2.9%
社会インフラ	1,313	968	345
%	5.4%	4.7%	0.7%
家庭電器	39	97	-58
%	0.5%	1.3%	-0.8%
その他	147	187	-40
%	3.8%	4.8%	-1.0%
連結計	2,381	2,584	-203
%	3.1%	3.6%	-0.5%

営業損益分析



単位: 億円
(対06年度)

為替影響

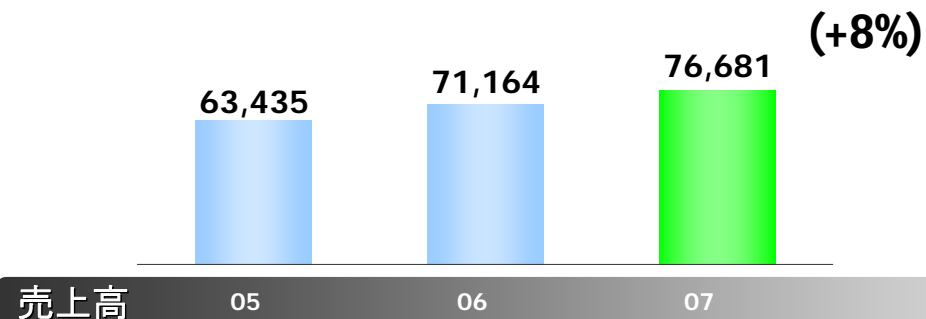
		07年度		06年度		対06年度	
		外貨量	平均レート	外貨量	平均レート	外貨量	平均レート
米ドル	輸出	15,436	115	13,350	117	2,086	-2
	輸入	16,054	115	14,270	117	1,784	-2
	差	-618	-	-920	-	302	-
ユーロ	輸出	2,055	160	2,601	146	-546	14
	輸入	0	-	0	-	0	-
	差	2,055	-	2,601	-	-546	-

単位：百万外貨・円

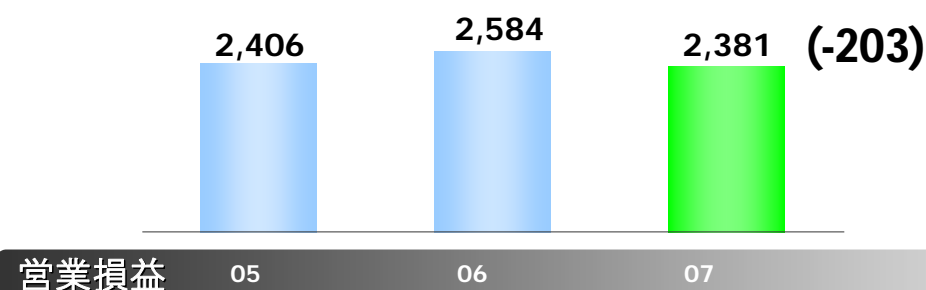
東芝単独ベース

決算レビュー

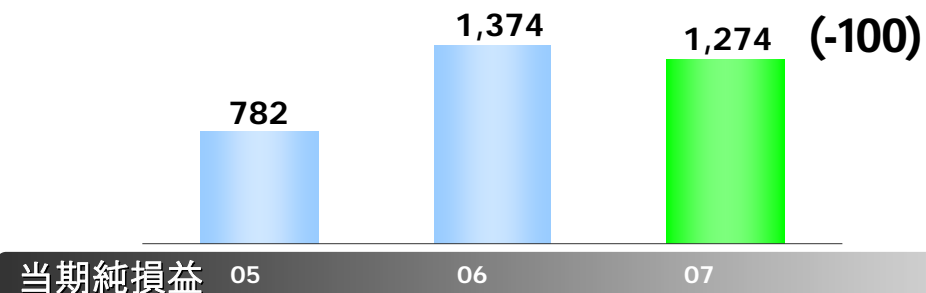
単位：億円
(対06年度)



■売上高：
デジタルプロダクツ、電子デバイス、
社会インフラ、家庭電器部門が増収

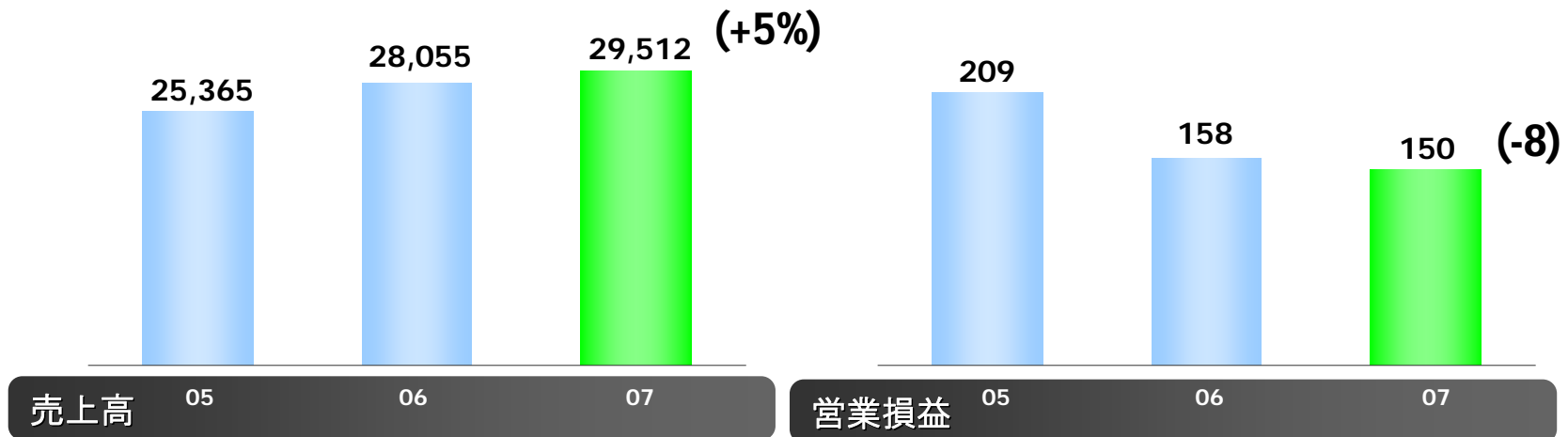


■営業損益：
社会インフラ部門が増益である
が、電子デバイス部門が減益
で、全体としては減益



■当期純損益：
HD DVD事業終息、減価償却制度
変更等の影響により減益

デジタルプロダクツ

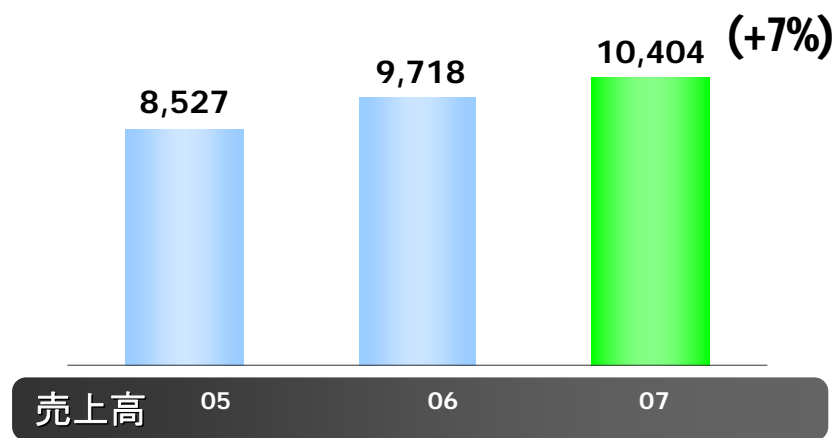


■ PC事業の海外を中心とした伸長、TV事業の伸長により増収

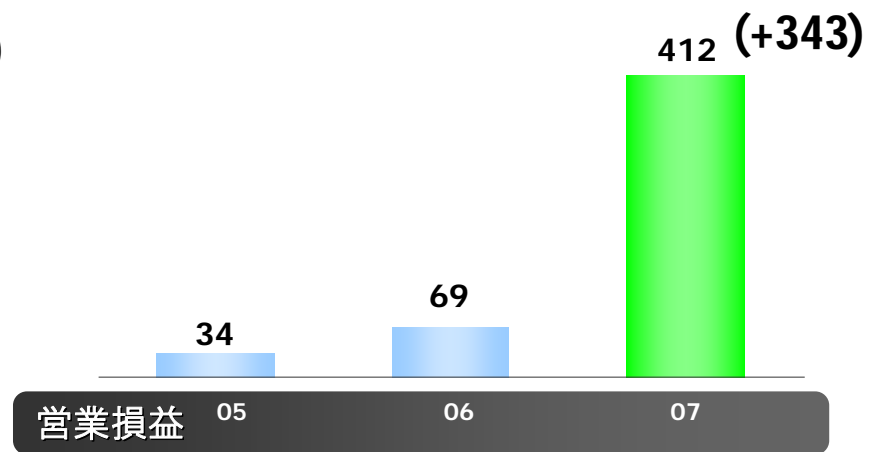
■ PC事業は大幅な増益であるが、HD DVD事業終息の影響もあり減益

単位：億円
(対06年度)

PC



■ 販売台数の伸長により増収



■ 販売台数の伸長およびコスト削減施策の実施により大幅増益

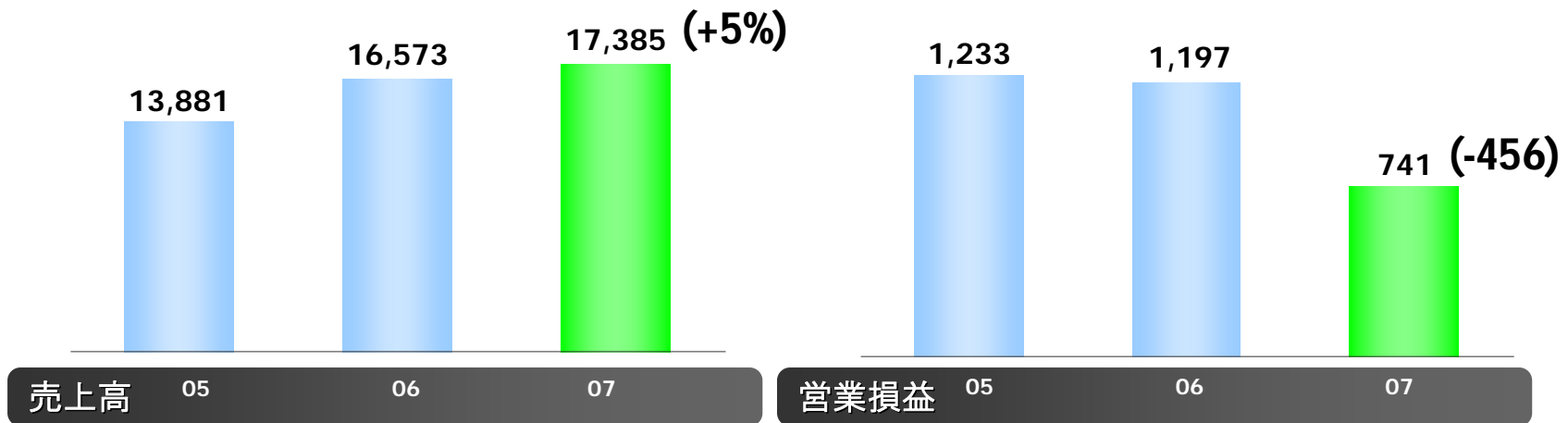
単位: 億円
(対06年度)

HD DVD事業終息に伴う影響

	07年度	06年度	差 対06年度
売上高	274	140	134
営業損益	-602	-340	-262
事業終息費用	-483	0	-483
税引前損益	-1,085	-340	-745

単位：億円
(対06年度)

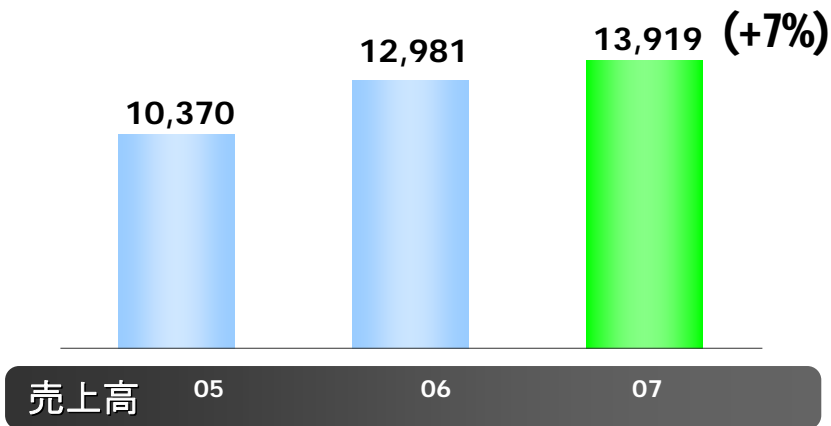
電子デバイス



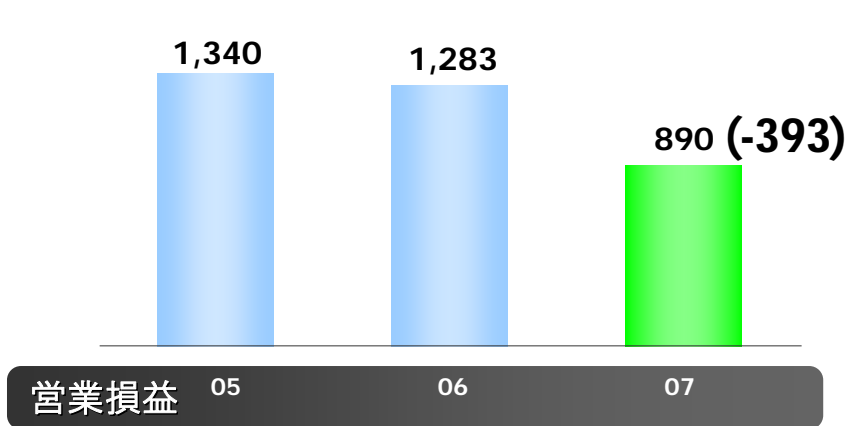
■ 液晶事業は減収であるが、半導体事業がメモリを中心に増収で全体として増収

■ 半導体事業がメモリの価格下落等により減益、液晶事業も大幅に悪化した結果、全体としても減益

半導体



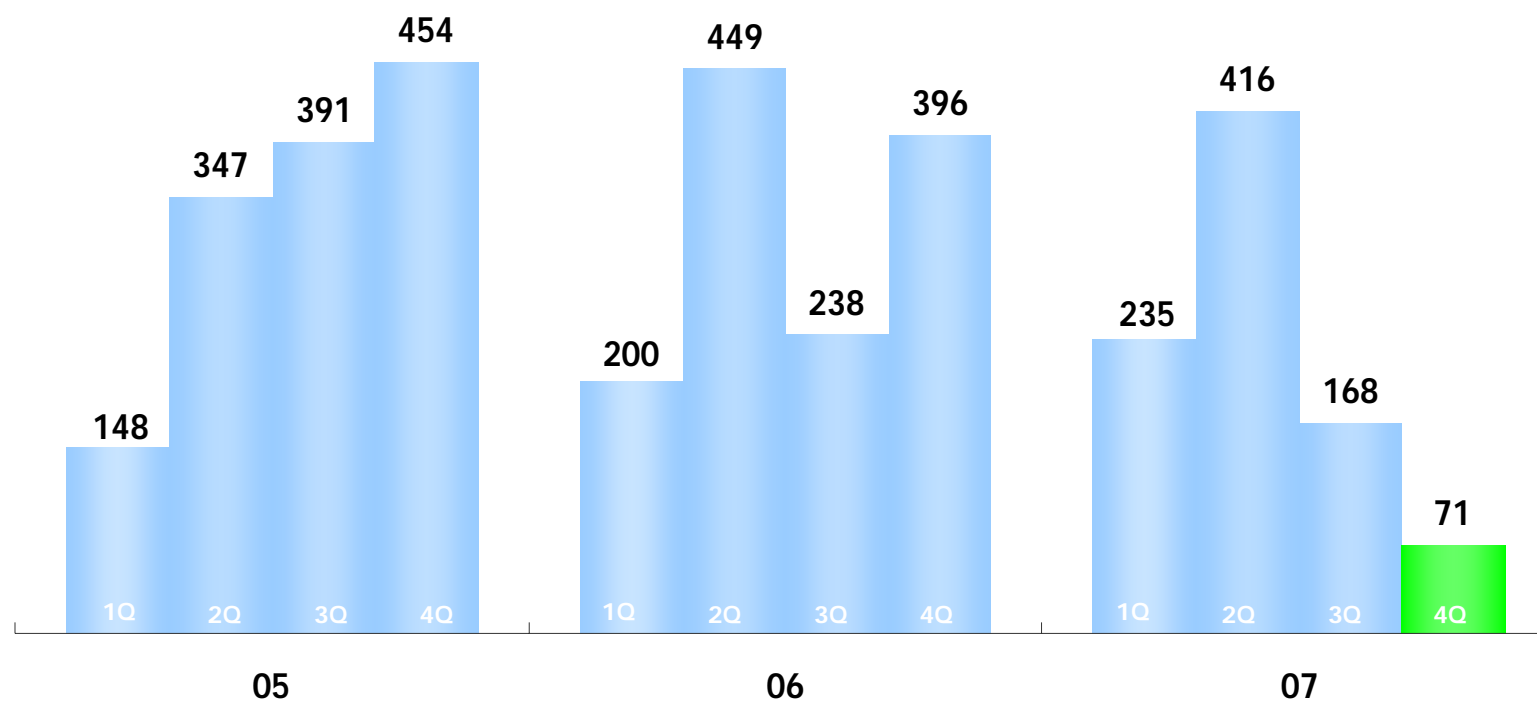
■メモリ事業を中心に堅調に推移し増収



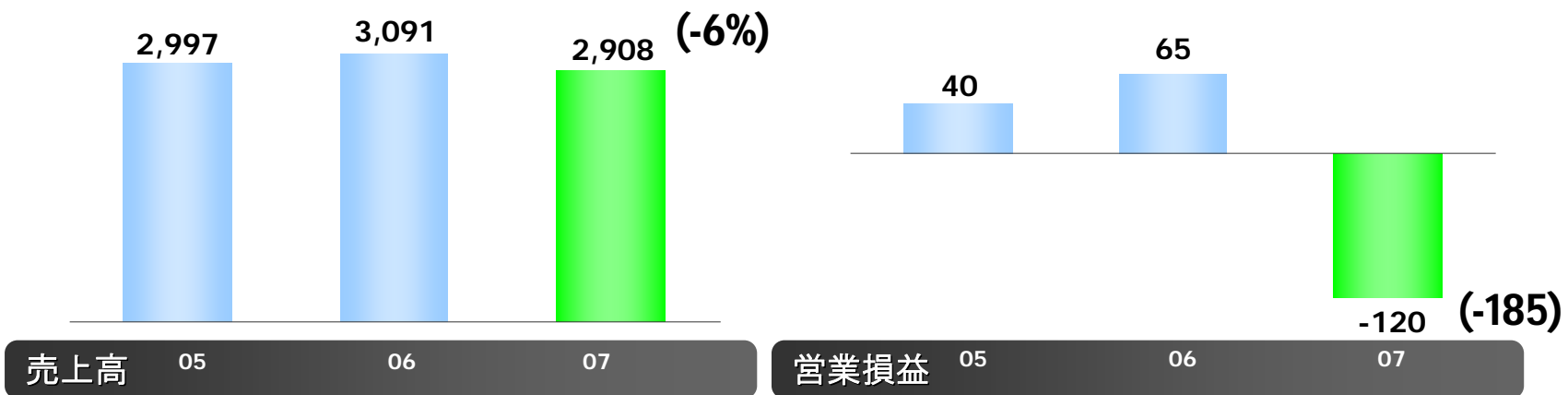
■NAND型フラッシュメモリの価格下落の影響のほか、システムLSI ディスクリット事業も減益

単位: 億円
(対06年度)

半導体四半期別営業損益トレンド



液晶

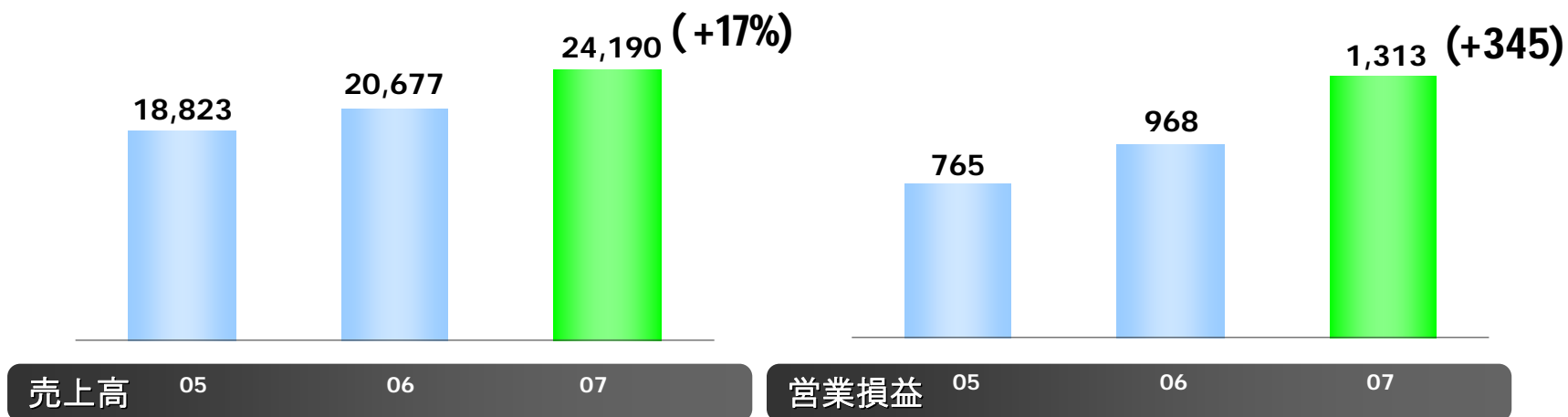


■ 携帯機器向けの不振と価格下落の影響により減収

■ 価格下落及び携帯機器向けの物量減により大幅悪化

単位: 億円
(対06年度)

社会インフラ



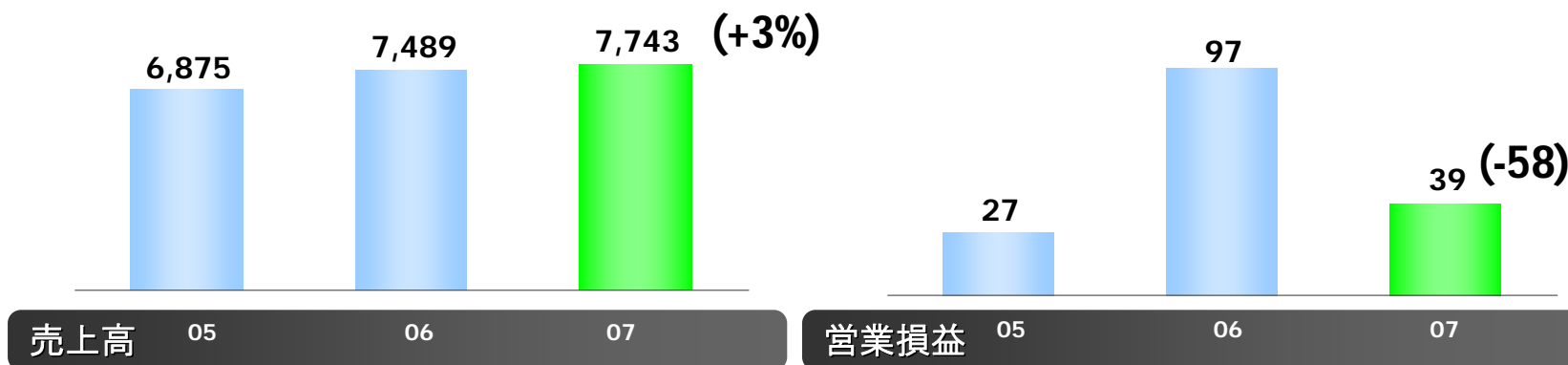
■ 電力システム、産業システム、
医用システム事業を中心に堅調
に推移し大幅増収

■ 電力システム、産業システム、
医用システム事業に加え、昇降
機事業が順調で大幅増益

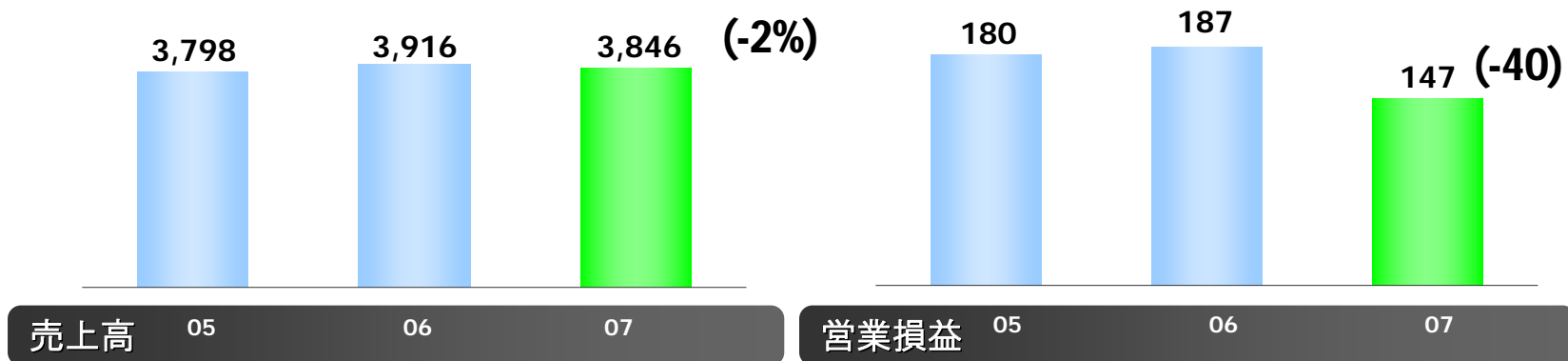
単位：億円
(対06年度)

家庭電器

単位: 億円
(対06年度)



その他



営業外損益

	07年度	06年度	差
			対06年度
有価証券売却損益	327	626	-299
固定資産売却損益	1,327	251	1,076
持分法投資損益	280	279	1
為替決済差損益	-169	146	-315
金融収支	-130	-76	-54
減価償却制度変更による影響	-466	0	-466
HDDVD事業終息費用	-483	0	-483
その他	-511	-825	314
営業外損益計	175	401	-226

単位:億円

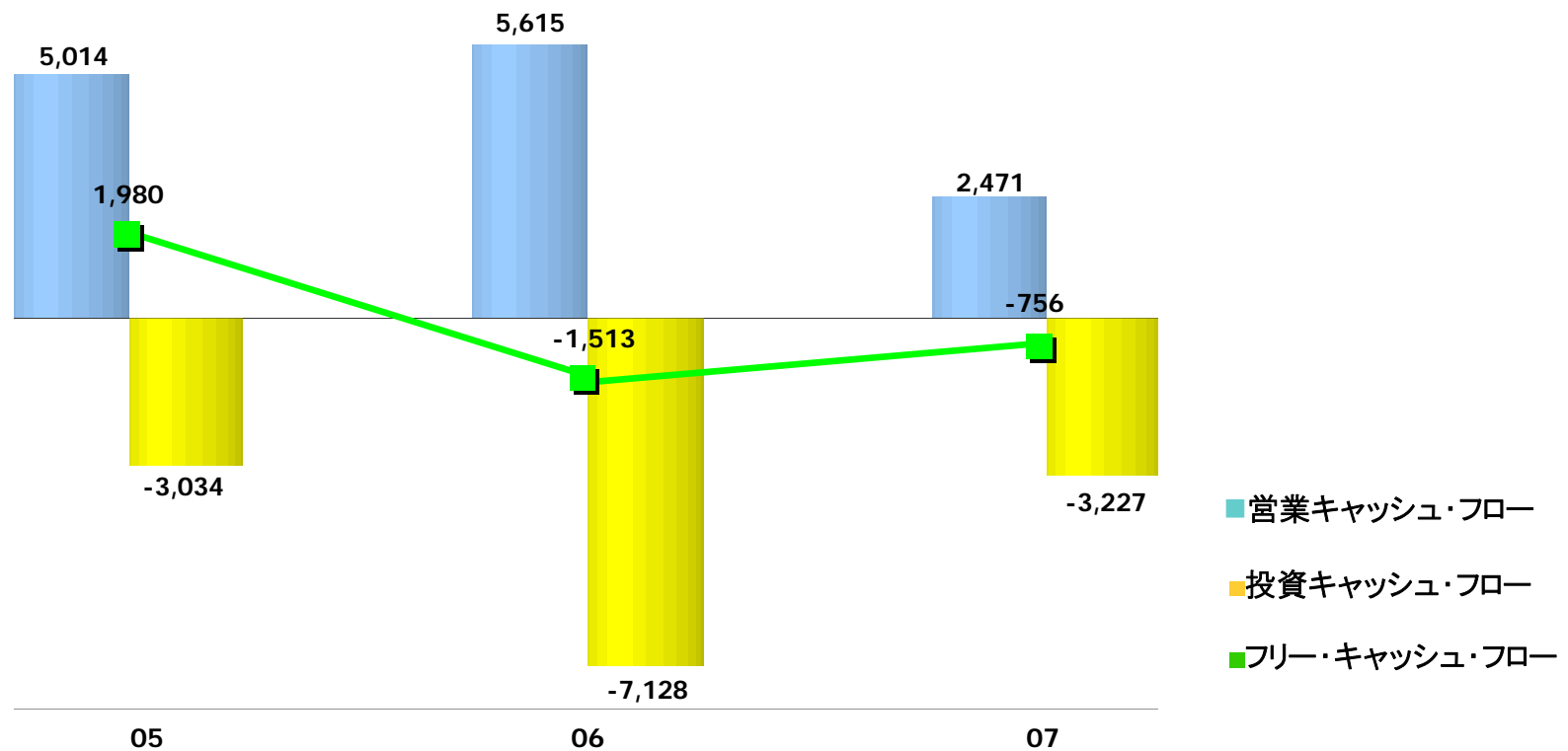
減価償却制度見直し

	07年度
新規取得設備	182
限度額償却済	117
営業損益への影響 (A)	299
償却途上設備	466
営業外損益への影響 (B)	466
合計 (A+B)	765

(内、半導体 549)

単位: 億円

キャッシュ・フロー

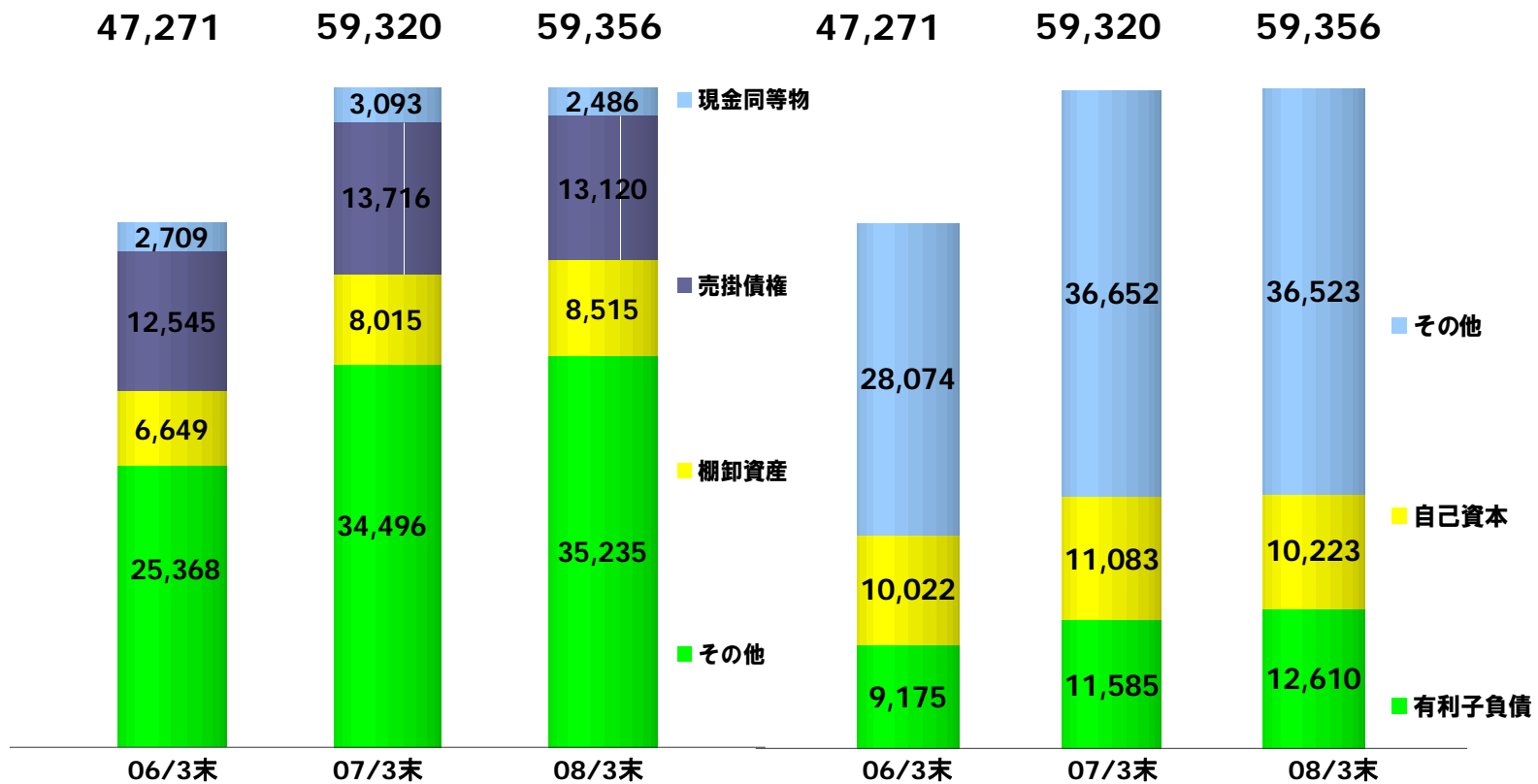


単位: 億円

貸借対照表

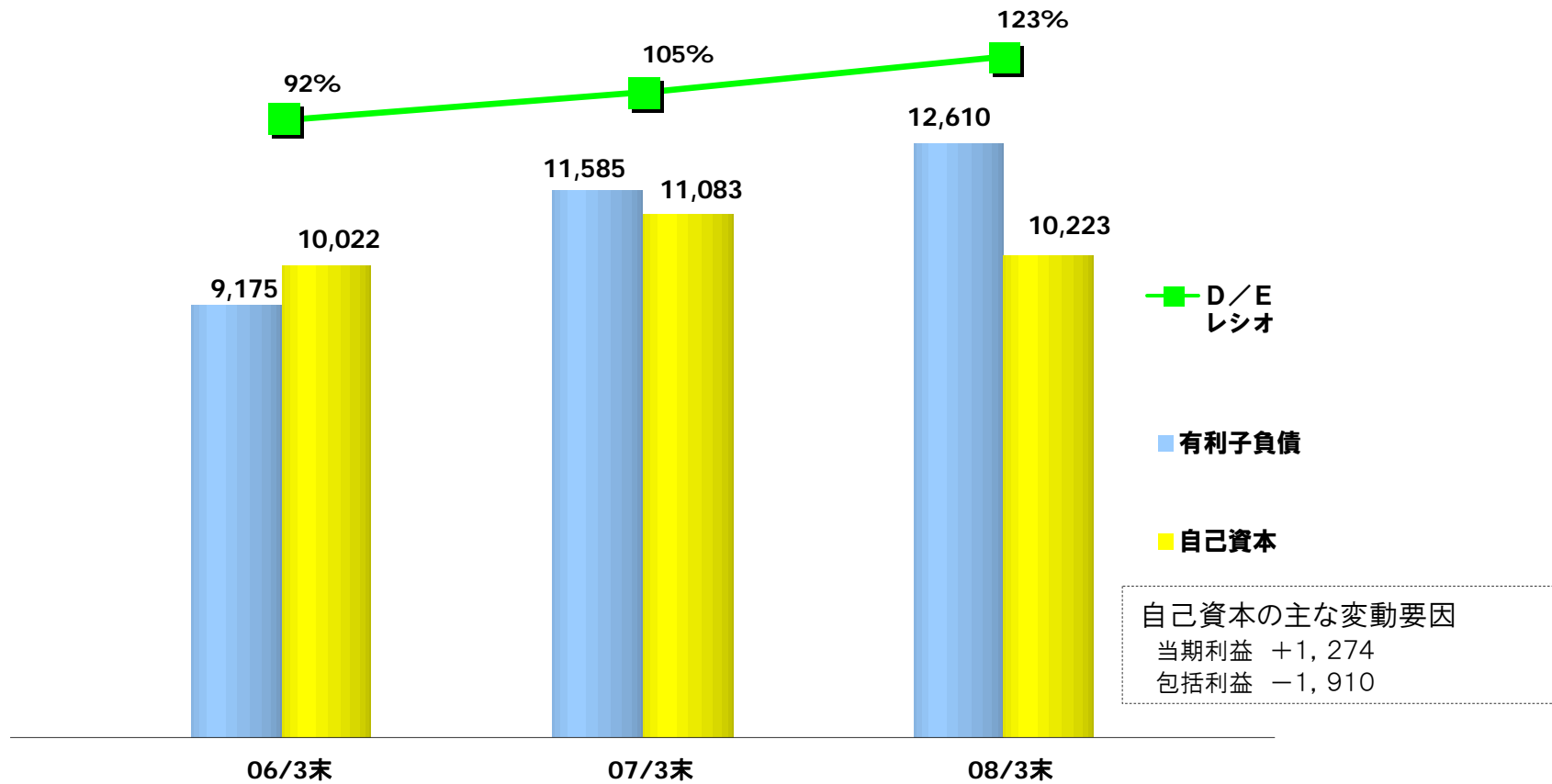
資産

負債・資本



単位：億円

DEレシオ



単位: 億円

概要 08年度業績見通し

	08年度	07年度	差
			対07年度
売上高	80,000	76,681	3,319
営業損益	2,900	2,381	519
%	3.6%	3.1%	0.5%
税引前損益	2,600	2,556	44
%	3.3%	3.3%	-
当期純損益	1,300	1,274	26
%	1.6%	1.7%	-0.1%

為替(08年度想定)

¥100/米ドル

¥150/ユーロ

単位:億円

セグメント情報 08年度業績見通し

単位: 億円

売上高	08年度	07年度	差
			対07年度
デジタルプロダクツ	31,000	29,512	1,488
電子デバイス	18,500	17,385	1,115
社会インフラ	25,000	24,190	810
家庭電器	8,000	7,743	257
その他	4,000	3,846	154
連結計	80,000	76,681	3,319

営業損益	08年度	07年度	差
			対07年度
デジタルプロダクツ	700	150	550
%	2.3%	0.5%	1.8%
電子デバイス	850	741	109
%	4.6%	4.3%	0.3%
社会インフラ	1,300	1,313	-13
%	5.2%	5.4%	-0.2%
家庭電器	100	39	61
%	1.3%	0.5%	0.8%
その他	-50	147	-197
%	-1.3%	3.8%	-5.1%
連結計	2,900	2,381	519
%	3.6%	3.1%	0.5%

TOSHIBA

Leading Innovation >>>